

三重県経済の動向（2020年10月） No.517

【現在の景気】 厳しい状況ながら持ち直しの動き （※7～9月の指標より（一部除く））

新型コロナウイルス感染症の影響により、総じて厳しい水準にあるものの、持ち直しの動きが広がっている。個人消費は一部で持ち直しており、生産、輸出ともに厳しいながら持ち直しの動きがみられる。一方、雇用は弱い動きとなっている。

<当月のポイント>

- ・生産指数（8月）は輸送機械、電子部品・デバイス、化学、汎用・生産用・業務用機械などが上向き、全体でも前月比3か月連続の上昇。生産財、消費財、投資財ともに前月を上回る。
- ・輸出額（9月）は前年比減少幅が大幅に縮小。
- ・百貨店・スーパー、家電、ドラッグストア、ホームセンター販売（8月）は前年比増加が続く。
- ・有効求人数（8月）は前年比大幅減、有効求職者数は増加。有効求人倍率の低下が続く。

【当面の見通し】 厳しい状況ながら徐々に持ち直しに向かう見通し

社会経済活動の段階的な引き上げと各種政策効果等により、厳しい状況ながら徐々に持ち直しに向かうことが期待されるが、感染状況は依然として予断を許さない状況にあり留意が必要。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	厳しい状況ながら一部に下げ止まりの動きもみられる	厳しい状況ながら一部に持ち直しの動きもみられる	厳しい状況ながら持ち直しの動きがみられる	↗	—
1. 景気動向指数 ／企業の景況感	悪化／下降傾向	悪化／持ち直しの動きがみられる	悪化／持ち直しの動きがみられる	→	2
2. 生産	減少している	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	3
3. 輸出	減少している	減少している	持ち直しの動きがみられる	↗	3
4. 設備投資	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	→	4
5. 企業倒産	横ばい	横ばい	横ばい	→	4
6. 雇用	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	→	5
7. 賃金	足踏み	足踏み	足踏み	→	6
8. 個人消費	一部で持ち直している	一部で持ち直している	一部で持ち直している	→	6
9. 住宅投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	7
10. 公共投資	弱含み	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	8

※網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所

コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 景気動向指数

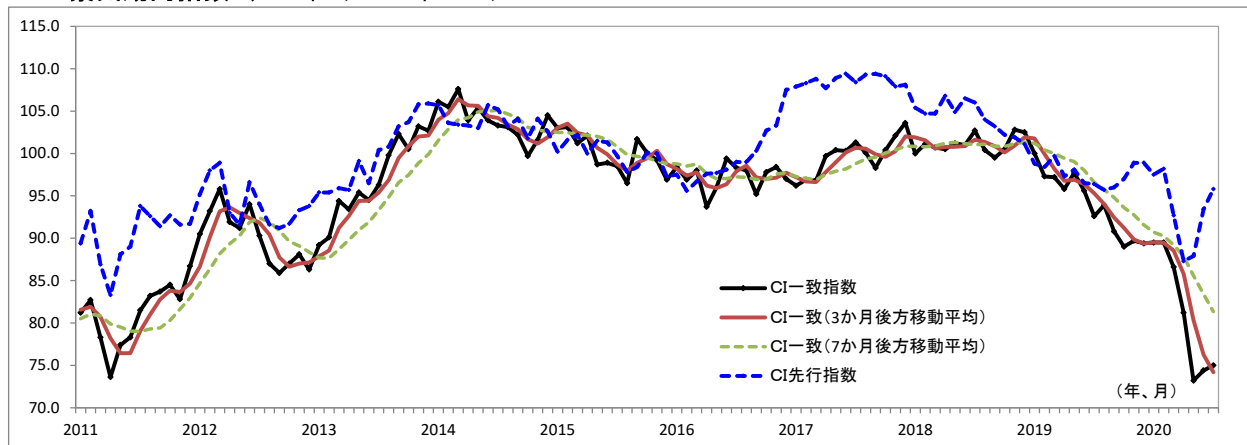
【現状】＜悪化＞

○7月の景気動向指数（C I）一致指数は、75.0で前月差+0.6ポイント。3か月後方移動平均（△2.07ポイント）は6か月連続の下降、7か月後方移動平均（△2.06ポイント）は19か月連続の下降となり、「悪化」を示している。

【見通し】

○7月の景気動向指数（C I）先行指数は、95.8で前月差+2.4ポイント。3か月後方移動平均（+2.84ポイント）は2か月連続の上昇、7か月後方移動平均（△0.44ポイント）は5か月連続の下降となった。

■景気動向指数（C I）（2015年=100）



※上記の「CIを用いた基調判断」は三重県が内閣府の判断基準に準じて行った判断。

※「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

資料：三重県「三重県景気動向指数（C I）」

(2) 県内企業の景況感

前月より
更新なし

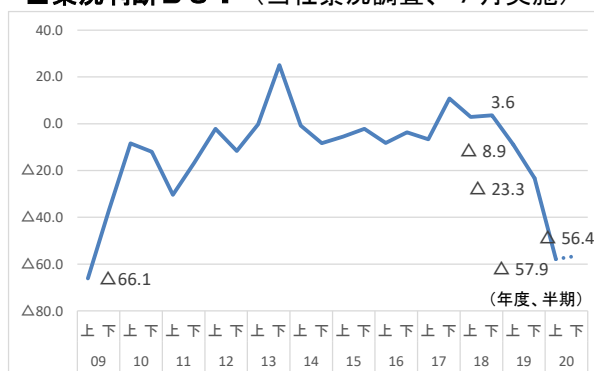
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○当社景況調査（半期）では、20年度上期の業況判断 BSI は△57.9 と、急激に下降。
○法人企業景気予測調査（四半期）では、20年7-9月期の景況判断 BSI は△23.4ポイントの「下降」超となったが、マイナス幅は大幅に縮小。

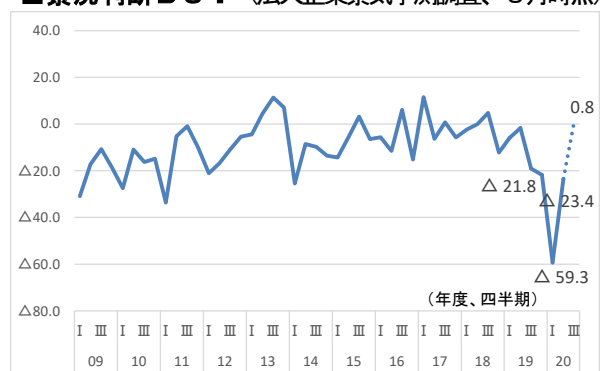
【見通し】

○当社景況調査の20年度下期（見通し）の業況判断 BSI は△56.4で、ほぼ横ばいの見通し。
○法人企業景気予測調査の20年10-12月期（見通し）の景況判断 BSI は+0.8%ポイントの「上昇」超に転じる見通し。

■業況判断 B S I（当社景況調査、7月実施）



■景況判断 B S I（法人企業景気予測調査、8月時点）



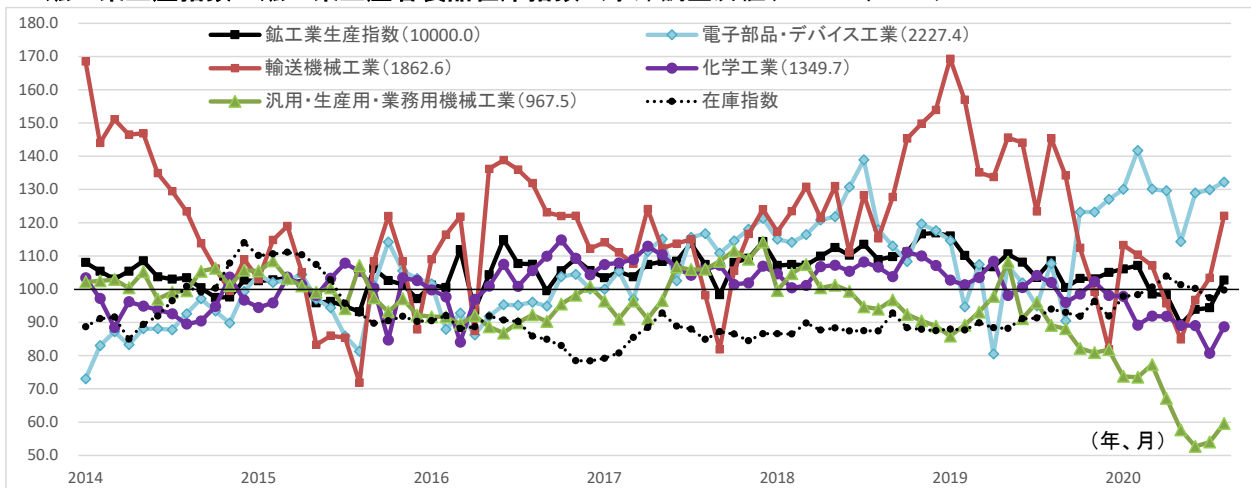
資料：当社「景況調査」（20年7月、484社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（20年8月、124社）

2. 生産

【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 8月の鉱工業生産指数（季調済）は102.7となり、前月比+8.8%で3か月連続の上昇となった。原数値は90.2で前年比△6.7%となり、厳しい水準ながら低下幅は3か月連続で縮小した。在庫指数（季調済）は99.7で前月比+2.4%となり、4か月ぶりに上昇に転じた。
- 生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイスは前月比3か月連続で上昇、前年比では大幅な上昇が続く。輸送機械は前月比+18.1%と大きく上昇し、3か月連続上昇。汎用・生産用・業務用機械は前年比大幅に低下しているが、前月比は2か月連続上昇。化学は前月比5か月ぶりの上昇。財別にみると、生産財、消費財が前月比3か月連続の上昇、投資財が2か月連続の上昇となった。

■ 鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2015年=100）



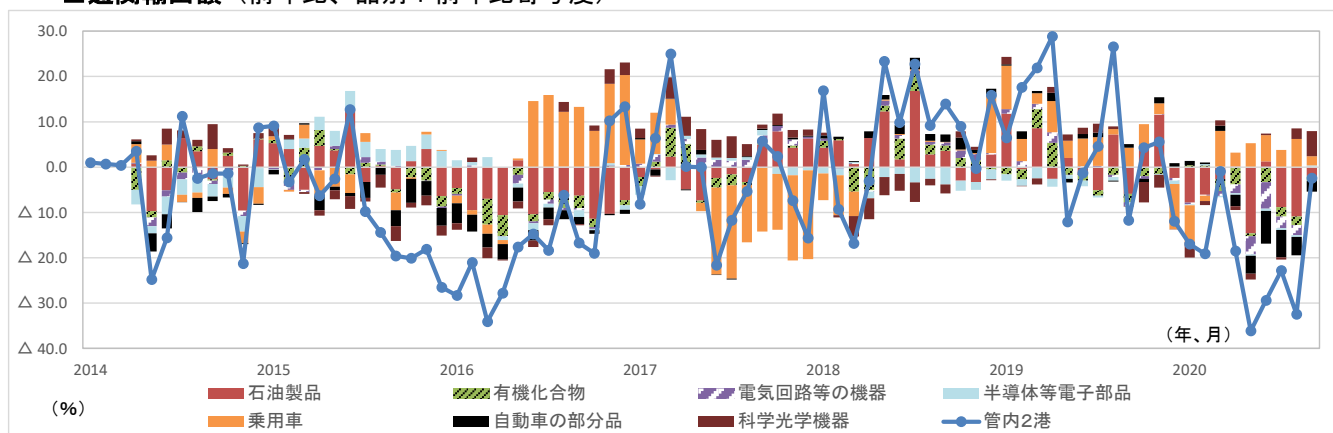
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 9月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比△2.5%と10か月連続の減少となったものの、減少幅は大幅に縮小した。このうち主要港である四日市港の通関輸出額は△1.9%で10か月連続の減少となったが、減少幅は大幅に縮小した。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、自動車の部分品、石油製品などは減少したが、乗用車は7か月連続、科学光学機器は2か月連続、半導体等電子部品は7か月ぶり、電気回路等の機器は10か月ぶりに増加した。

■ 通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



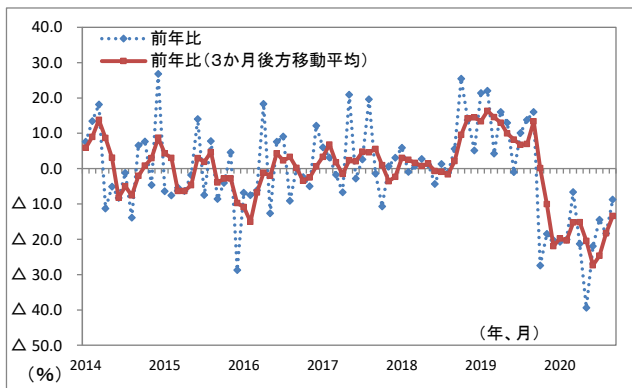
※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

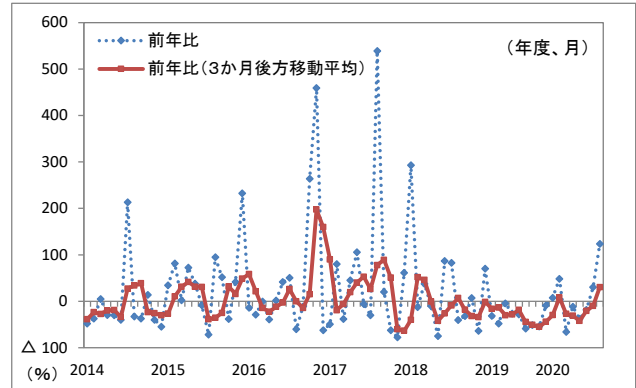
【現状】 <弱い動きとなっている>

- 9月の貨物車登録・販売台数（普通+小型+軽）は、前年比△8.8%となり、12か月連続の減少となったものの、減少幅は縮小した。普通貨物（△19.8%）、小型貨物（△10.7%）、軽貨物（△4.5%）のいずれも12か月連続の減少となった。
- 8月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比123.7%と2か月連続の増加となった。
- 6月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比2桁マイナスが続く。
- 当社景況調査（7月実施）では、20年度上期に設備投資を実施した企業割合は37.2%となり、19年度下期（44.7%）を大きく下回り、18期（9年）ぶりに40%を下回った。20年度下期は42.5%と上昇の見通し。

■貨物車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）

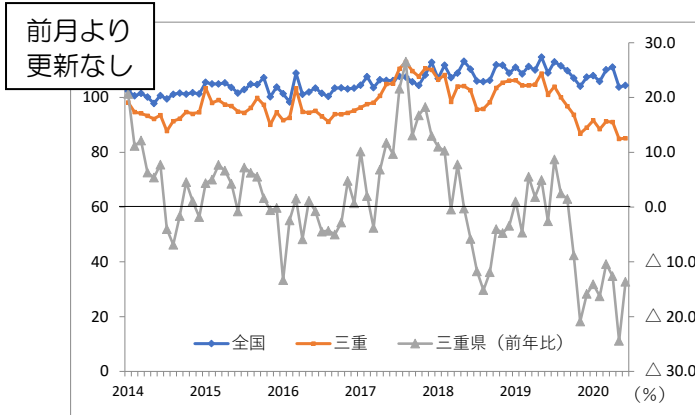


■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）

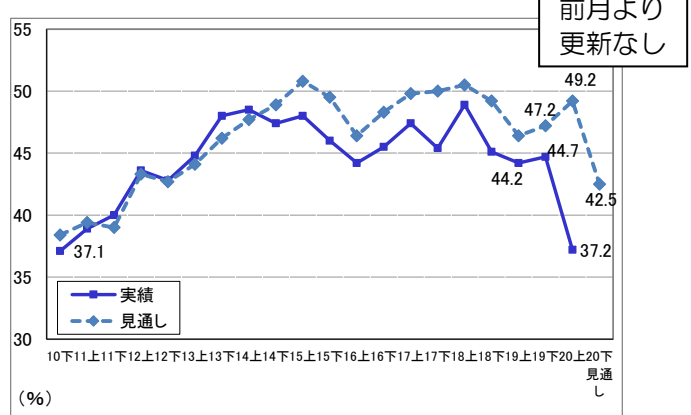


※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」

■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）



■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：内閣府「地域別支出総合指数」／当社「景況調査」（2020年7月調査）

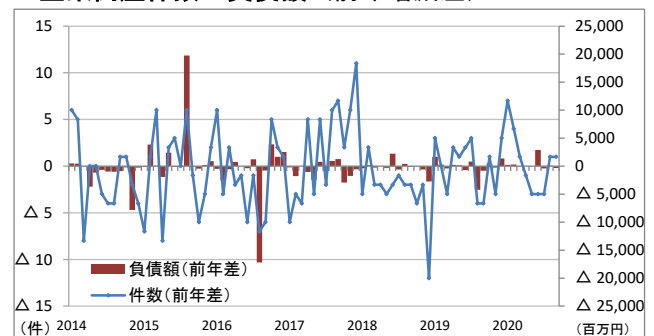
5. 企業倒産

【現状】 <横ばい>

- 9月の企業倒産件数は、4件（前年差+1件）と2か月連続の増加となった。負債額は1億28百万円（前年差△3億33百万円）で2か月ぶりの減少となった。

※負債額1,000万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）

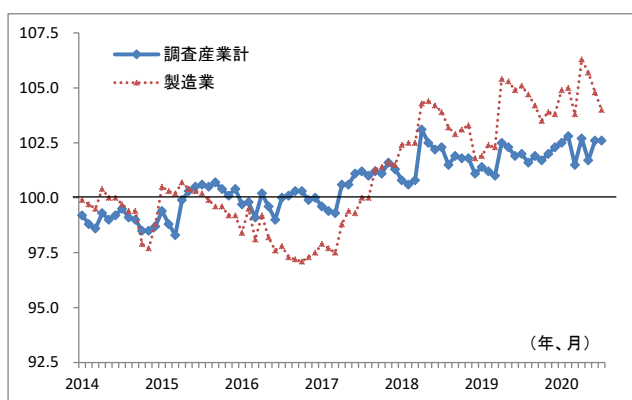


6. 雇用

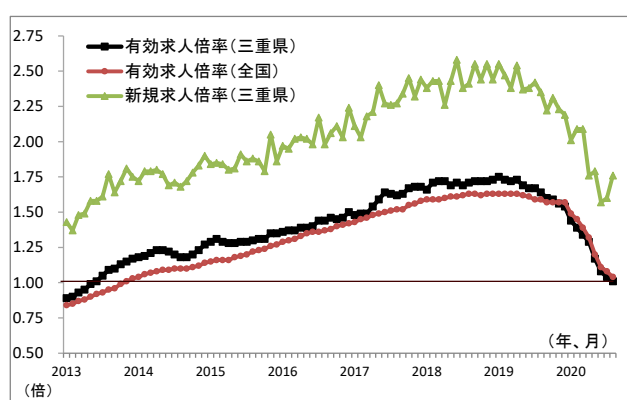
【現状】 <弱い動きとなっている>

- 7月の常用雇用指数は102.6で、前年比+0.6%となり、2か月連続の上昇となった。製造業は104.0で前年比△1.0%となり、2か月連続の低下となったものの高い水準で推移している。
- 8月の有効求人倍率（季節調整済）は1.01倍で、前月比△0.03ポイントとなり、13か月連続で前月比低下した。また、全国（1.04倍）を10か月連続で下回った。有効求人数（原数値）は前年比△27.9%と大幅な減少が続き、18か月連続で前年を下回った。有効求職者数（原数値）は3か月連続の増加となった。
- 8月の正社員有効求人倍率（原数値）は0.74倍となり、5か月連続で1倍を下回った。
- 8月の新規求人数（原数値）を産業別にみると、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、運輸業、郵便業、医療、福祉、職業紹介・労働者派遣業などを含むサービス業（他に分類されないもの）、製造業などで大幅に減少した。

■常用雇用指数（2015年=100）

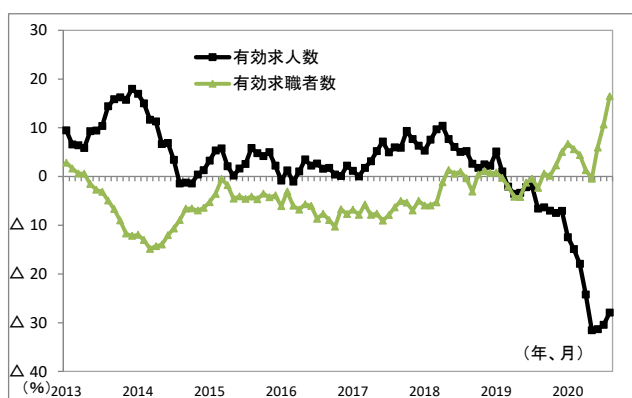


■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）

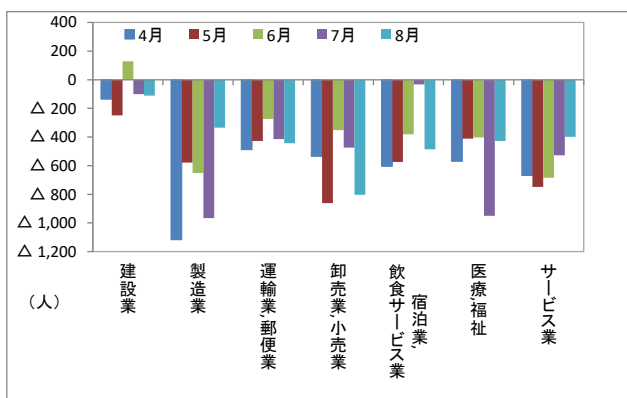


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員+パートタイム労働者）を指数化したもの
 ※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。
 資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■有効求人数・有効求職者数（原数値、前年比）



■新規求人数（主要産業別）（原数値、前年増減差）



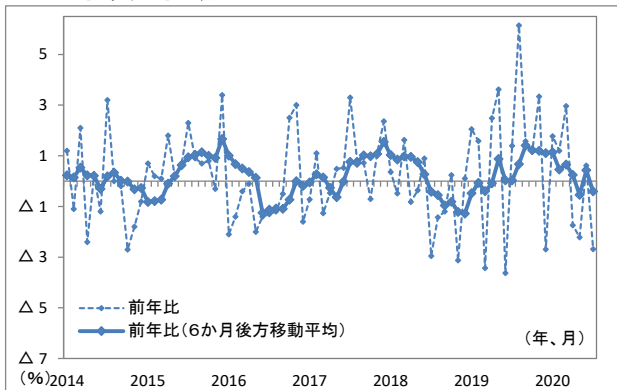
※新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。
 ※サービス業は他に分類されないもの
 資料：三重労働局「一般職業紹介状況」

7. 賃金

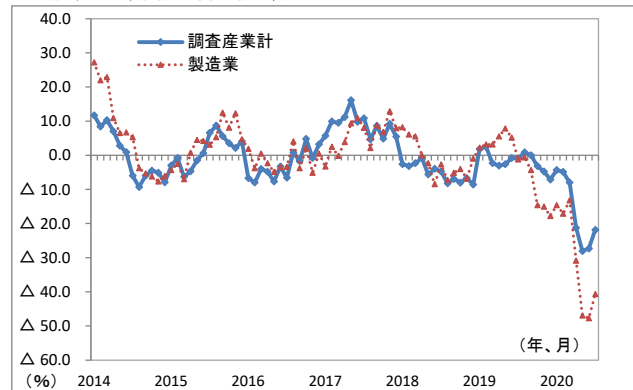
【現状】 <足踏み>

- 7月の名目賃金指数（現金給与総額）は、調査産業計が前年比 $\Delta 2.7\%$ となり、2か月ぶりの低下となった。6か月後方移動平均（ $\Delta 0.4\%$ ）でも2か月ぶりの低下となった。
- 7月の所定外労働時間指数は、調査産業計が前年比 $\Delta 21.8\%$ で10か月連続の低下、製造業は $\Delta 40.6\%$ で13か月連続の低下となったが、いずれも低下幅は縮小した。

■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



■所定外労働時間指数（前年比）



※事業所規模5人以上、2015年=100

※現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。

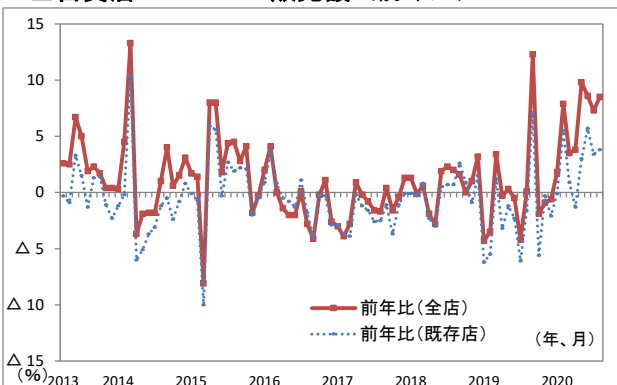
資料：三重県「毎月勤労統計調査」

8. 個人消費

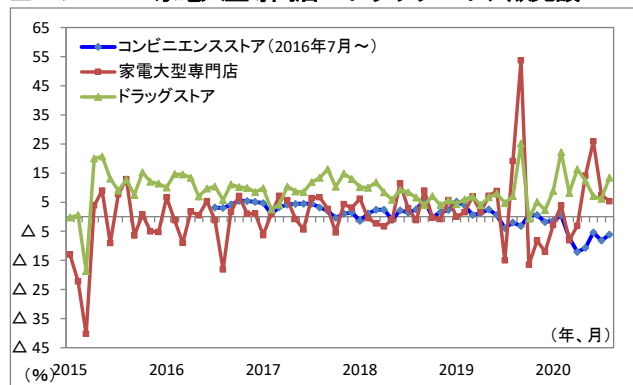
【現状】 <一部で持ち直している>

- 8月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比 $+8.5\%$ ）が8か月連続の増加、既存店（ $+3.8\%$ ）が4か月連続の増加となった。
- 8月のコンビニエンスストア販売額（ $\Delta 6.1\%$ ）は6か月連続の減少、家電大型専門店販売額（ $+5.3\%$ ）は4か月連続の増加、ドラッグストア販売額（ $+13.5\%$ ）は10か月連続の増加、ホームセンター（ $+15.8\%$ ）は7か月連続の増加となった。
- 9月の乗用車登録・販売台数（普通+小型+軽）（ $\Delta 16.4\%$ ）は12か月連続で減少となり、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動減があったものの、減少幅はわずかに縮小した。小型（ $\Delta 23.6\%$ ）は減少幅が拡大し、6か月連続の減少となった。普通（ $\Delta 18.1\%$ ）と軽（ $\Delta 9.7\%$ ）は12か月連続の減少となったものの、減少幅が縮小した。
- 8月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（ $\Delta 29.6\%$ ）は6か月連続の減少となり、減少幅は拡大した。可処分所得（ $+7.0\%$ ）は12か月連続の増加となった。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）



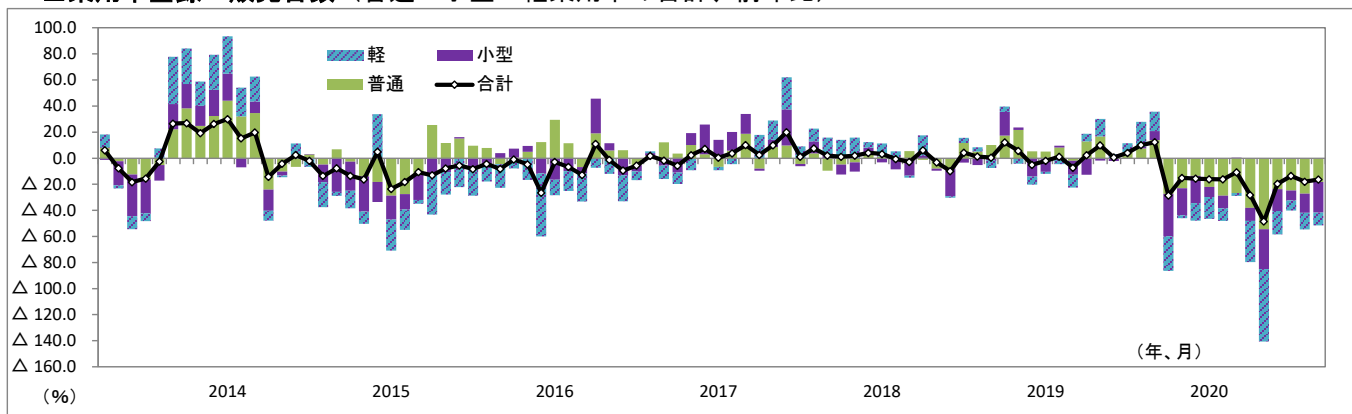
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。

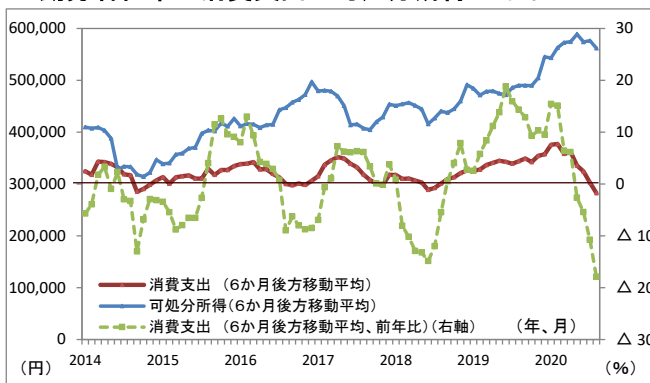
資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

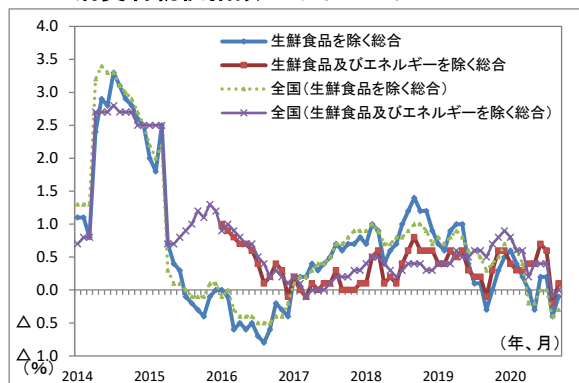


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）



※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯あたりの月平均。

※津市の調査結果は、標本世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意。

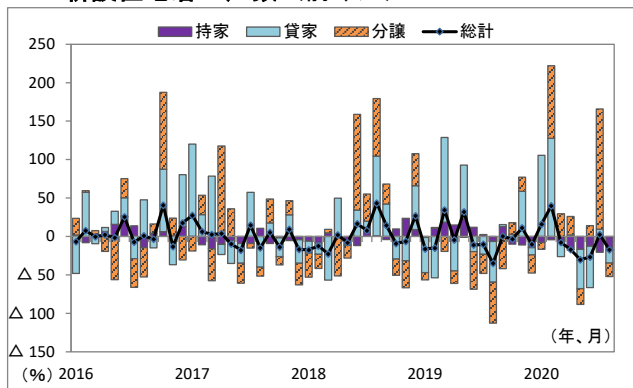
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

9. 住宅投資

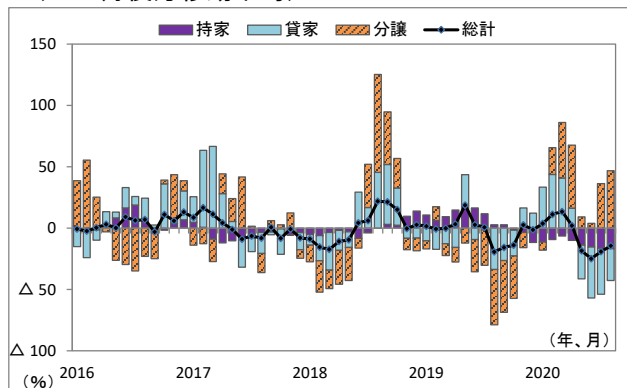
【現状】＜足踏み＞

○8月の新設住宅着工戸数は、前年比△17.3%で2か月ぶりの減少、3か月後方移動平均（△14.5%）では4か月連続の減少となったものの、減少幅は縮小した。持家（△17.3%）は11か月連続の減少、貸家（△17.4%）は2か月ぶりの減少、分譲（△17.4%）は3か月ぶりの減少となった。床面積（△16.0%）は6か月連続の減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

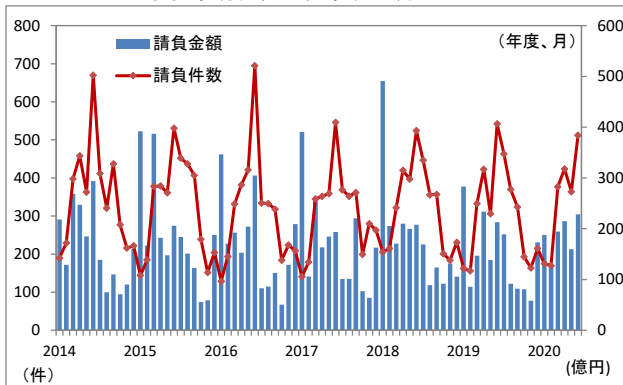
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

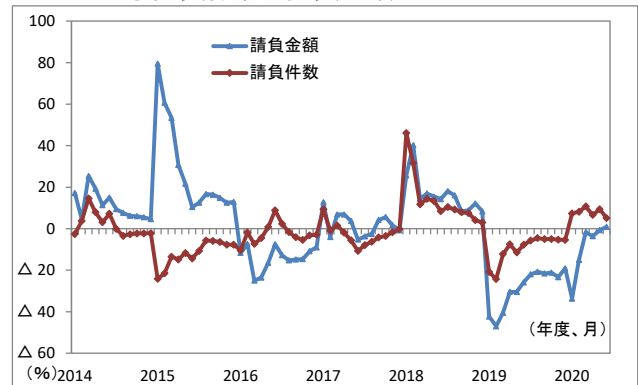
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 9月の公共工事請負件数は前年比 $\Delta 5.5\%$ となり6か月ぶりの減少、請負金額は $+7.3\%$ で2か月連続の増加となった。請負金額は年度累計では $+0.9\%$ と増加に転じた。
- 9月の請負額増加の主な要因は、中部地方整備局（国）において取扱件数が増加したほか、「津国道管内電線共同溝」と「東海環状二之瀬地区」関連の大型工事があった影響等による。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証㈱

<トピックス>

- ◆ 三重県は、9月25日から「三重 Go To Eat キャンペーン プレミアム付食事券」の申込を開始した。外食需要の喚起を図り、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている飲食業を支援するため。2021年1月31日まで4回に分けて受け付ける。対象エリアは三重県全域で、発行総額は最大100億円分。プレミアム率は25%。券の利用期間は、10月20日から2021年2月21日まで。利用可能加盟店は10月20日時点で2,773軒。
- ◆ 三重県は、9月30日、令和2年三重県地価調査結果を発表。7月1日現在の住宅地の基準地価の対前年平均変動率は $\Delta 1.6\%$ （前年 $\Delta 1.5\%$ ）で、28年連続の下降、商業地は $\Delta 1.3\%$ （同 $\Delta 0.9\%$ ）で、29年連続の下降となった。下落幅は、住宅地、商業地ともに、2016年以来4年ぶりに拡大。
- ◆ バリューマネジメント㈱（大阪）は、10月8日、伊賀上野の城下町に点在する歴史的な邸宅や町屋・古民家を改修した分散型ホテル「NIPPONIA HOTEL 伊賀上野 城下町」の3棟のうち2棟を11月1日に開業すると発表。敷地内にはレストラン、組紐店もある。残り1棟は年度内の開業を目指す。
- ◆ 積水ハウス㈱（大阪）と米ホテル大手マリオット・インターナショナルは、10月12日、御浜町の道の駅「パーク七里御浜」近くに、宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・三重御浜」を開業。地域経済の活性化を目指し、各地の道の駅の隣にホテルを展開する「Trip Base 道の駅プロジェクト」として展開。全国で6番目、県内では初めての開業。客室数は63室で、地域を周遊させるため、ホテルでの飲食の提供や物販はない。
- ◆ 三重県は、10月14日、来年開催予定の「三重とこわか国体・三重とこわか大会」の開閉会式を史上初のオンライン開催する方針（案）を明らかにした。会場を、三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場から県総合文化センター大ホールに変え、参加者の規模を縮小して開催する。開会式の参加者数は、これまでの約21,000人から、別会場からの参加を合わせて約800人に抑える予定。

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8	前年比	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2015年=100)	前年比 *11	(2015年=100)	前年比 *11	(百万円)	(既存店)	(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2017年	105.6	8.6	104.3	5.9	257,588	△ 2.0	53,382	3.9	32,011	8.1	328,355	5.0
2018年	100.1	△ 5.2	102.5	△ 1.7	259,669	0.1	53,322	△ 0.1	32,501	1.5	307,460	△ 6.4
2019年	98.4	△ 1.7	99.9	△ 2.5	259,401	△ 2.2	51,181	△ 4.0	32,393	△ 0.3	350,081	13.9
18年12月	104.1	△ 8.6	110.7	△ 1.0	26,113	1.5	3,966	△ 4.4	2,152	△ 6.4	340,318	△ 14.1
19年1月	95.1	1.8	100.0	2.2	22,083	△ 6.2	4,132	△ 2.3	2,892	△ 1.6	325,621	6.0
2月	102.5	2.5	111.8	3.1	19,262	△ 5.5	5,238	5.0	3,206	△ 4.5	347,179	22.9
3月	102.5	△ 2.3	110.7	3.2	21,220	1.2	6,670	△ 5.8	3,730	△ 9.9	390,193	35.6
4月	104.1	△ 3.1	107.3	5.5	20,460	△ 3.2	3,547	△ 0.1	2,611	5.9	327,568	17.5
5月	93.4	△ 2.6	100.6	7.8	20,826	△ 1.2	3,814	7.7	2,518	13.4	338,281	27.2
6月	99.2	△ 0.8	102.2	5.1	21,170	△ 2.3	4,285	△ 1.0	2,616	3.2	328,062	6.1
7月	97.5	△ 0.9	99.4	△ 1.2	21,186	△ 6.1	4,474	2.5	2,774	6.7	303,586	△ 8.2
8月	92.6	0.9	92.7	△ 0.6	22,222	△ 1.6	3,663	4.7	2,521	19.0	376,929	12.9
9月	99.2	0.0	98.9	△ 4.4	22,766	7.1	5,548	10.8	3,377	14.8	420,010	24.4
10月	100.0	△ 3.2	92.1	△ 14.6	20,627	△ 5.6	2,993	△ 29.7	1,908	△ 26.6	286,918	△ 4.9
11月	98.4	△ 4.7	92.1	△ 15.0	21,629	△ 0.3	3,519	△ 22.0	2,378	△ 2.2	409,893	30.6
12月	96.7	△ 7.1	91.0	△ 17.8	25,949	△ 2.1	3,298	△ 16.8	1,862	△ 13.5	346,729	1.9
20年1月	91.0	△ 4.3	85.4	△ 14.6	22,472	△ 0.1	3,479	△ 15.8	2,412	△ 16.6	413,270	26.9
2月	97.5	△ 4.9	92.7	△ 17.1	20,779	5.5	4,178	△ 20.2	2,896	△ 9.7	386,394	11.3
3月	94.3	△ 8.0	96.1	△ 13.2	24,927	0.9	5,634	△ 15.5	3,647	△ 2.2	305,301	△ 21.8
4月	82.0	△ 21.2	74.2	△ 30.8	24,087	△ 1.3	2,638	△ 25.6	1,787	△ 31.6	308,520	△ 5.8
5月	67.2	△ 28.1	53.4	△ 46.9	25,957	3.0	2,144	△ 43.8	1,117	△ 55.6	253,933	△ 24.9
6月	72.1	△ 27.3	53.4	△ 47.7	26,094	5.7	3,400	△ 20.7	2,146	△ 18.0	277,721	△ 15.3
7月	76.2	△ 21.8	59.0	△ 40.6	25,787	3.4	3,704	△ 17.2	2,558	△ 7.8	283,692	△ 6.6
8月	—	—	—	—	27,367	3.8	2,872	△ 21.6	2,198	△ 12.8	265,545	△ 29.6
9月	—	—	—	—	—	—	4,414	△ 20.4	3,049	△ 9.7	—	—
資料出所	三重県戦略企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
	前年比	*10	前年比	(2015年=100)	前年比	(2015年=100)	前年比	
2017年	10,347	△ 1.9	2,027	△ 0.8	100.0	0.5	100.6	0.1
2018年	10,616	2.6	2,196	8.4	101.0	0.9	101.0	0.4
2019年	10,162	△ 4.3	1,776	△ 19.1	101.4	0.4	101.4	0.4
18年12月	1,003	27.0	124	△ 44.0	101.3	0.9	101.2	0.6
19年1月	612	△ 16.0	92	19.6	101.0	0.7	101.0	0.4
2月	647	△ 15.0	132	105.6	101.1	0.6	101.1	0.4
3月	892	34.3	106	△ 35.3	101.4	0.9	101.3	0.6
4月	833	△ 4.5	283	△ 42.3	101.5	1.0	101.4	0.5
5月	959	32.1	86	△ 58.3	101.6	1.0	101.4	0.6
6月	978	△ 11.0	147	△ 13.9	101.2	0.4	101.1	0.3
7月	819	△ 10.3	234	11.3	101.2	0.1	101.1	0.2
8月	747	△ 34.6	138	△ 30.7	101.4	0.1	101.5	0.2
9月	1,032	0.3	213	2.2	101.1	△ 0.3	101.2	△ 0.1
10月	807	△ 3.4	189	11.8	101.7	0.0	101.7	0.3
11月	936	11.2	92	3.0	102.0	0.3	102.0	0.6
12月	900	△ 10.3	82	△ 33.7	101.9	0.5	101.8	0.6
20年1月	711	16.2	81	△ 12.4	101.6	0.6	101.4	0.4
2月	904	39.7	58	△ 55.9	101.5	0.4	101.3	0.3
3月	824	△ 7.6	173	64.2	101.6	0.2	101.6	0.3
4月	693	△ 16.8	188	△ 33.7	101.6	0.0	101.8	0.4
5月	669	△ 30.2	126	46.7	101.3	△ 0.3	101.7	0.4
6月	718	△ 26.6	194	32.1	101.4	0.2	101.7	0.7
7月	839	2.4	215	△ 8.1	101.4	0.2	101.7	0.6
8月	618	△ 17.3	160	15.4	101.0	△ 0.4	101.2	△ 0.2
9月	—	—	228	7.3	101.0	△ 0.1	101.2	0.1
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証機構		総務省統計局			